

少子高齢化を伴う人口減少が既に始まっているこの国において、今後、建築の役割が益々小さくなっていくのではないかと多くの場面で危惧されているように感じますが、果たして本当にそうなのでしょうか？

社会の中で必要とされる建築物の総量については、絶対的に減少することを疑う余地はありませんが、この世に人が存在する限り、「建築」という行為が無くなることはなく、規模を縮小させていく社会においては逆に重要度が増すことも十分にあり得るのではないのでしょうか。ここで言う「建築」とは、「デザイン」や「ものづくり」という範囲に留まらず、「様々な事象を繋ぎ合わせて物と事を構築する意志」という少し広義な言葉として捉えています。既に多くの若手建築家たちは、変化しつつある現状を敏感に捉え、ある時は繊細に、またある時は大胆に、様々な手法と手段を用いて建築を表現し始めているように感じます。そこで今回は、大阪を拠点とする若手建築家に集ってもらい、各自の活動を通して考える「これからの建築」について語り合いたいと思います。(岸下真理)

若手建築家連続講演会

アイムアーキテクト

Vol.00

2018. 6. 20 wed

時間：17:00 開場 17:30 START

会場：株式会社サンワカンパニー 大阪ショールーム
〒530-0011 大阪市北区大深町3-1

うめきた・グランフロント大阪北館5F TEL:06-6359-2930

定員：50名 参加費：無料

申込先：大阪地域会事務局 / 担当・緒方

TEL:06-6229-3371 / MAIL:jia@bc.wakwak.com

主催：公益社団法人日本建築家協会 近畿支部 大阪地域会

Moderator



岸下真理 | SHINRI KISHISHITA

1969年兵庫県生まれ。金沢工業大学大学院工学研究科修士課程修了後、無有建築工房。2001年 Atelier KISHISHITA 共同設立。現在、大阪工業大学、摂南大学非常勤講師。代表作に「但東町の賤ヶ屋」「甲陽園目神山町の家」「日本圧着端子製造株式会社」など。2007年：第53回大阪建築コンクール渡辺節賞、2010年：第5回 JIA 関西建築家新人賞、2011年：大阪建築コンクール大阪府知事賞、2013年：AACA 芦原義信賞など多数受賞。



橋口新一郎 | SHINICHIRO HASHIGUCHI

1972年大阪府生まれ。近畿大学大学院修了後、出江寛に師事。2000年橋口建築研究所設立。日本の伝統的な技術や感性に着目し、次々と茶室を発表。国内外で高い評価を得ている。代表作に「織物の茶室 | 霞庵」「姫嶋神社 | 参集殿」、著書「にほんのあらたなてしごと」グッドデザイン賞、DFA アジアデザイン賞、AACA 賞優秀賞など多数受賞。近畿大学・帝塚山大学非常勤講師、ロンドン芸術大学招待芸術家